



萩東中だより



2020年
2月7日

〒758-0025 萩市土原556番地 TEL0838(25)2721 FAX0838(25)3721
e-mail higashi-jh@edu.city.hagi.lg.jp

NO.20

何でも願いをかなえてくれる地蔵と、

めったに願いをかなえてくれない地蔵

あなたはどちらの地蔵に願いを掛けますか？



今回の学習指導要領改訂の目玉の一つに、「道徳」の教科化があります。そして、「考え議論する道徳」をキーワードに、私たち教師に道徳の授業改善が求められています。しかし、「道徳」は、人としてのあり方、人としての生き方を教えるわけですから、学習指導要領の改訂に関係なく、「道徳の授業をどのように行えばいいのか」ということは、私たち教師にとって、永遠のテーマといってもいいくらい難しいものなのです。

そこで、1月30日（木）に、下関市の児玉典彦教育長を講師にお招きして、道徳の授業づくりについて、校内研修会を開催しました。せっかくの機会なので、市内の小中学校にも参加を呼びかけたところ、他校から約30名の先生方が参加をされたほど、講師の先生は、山口県では有名な道徳指導の大家です。また、若い時に喉頭がんを患い手術をされ、声が出ませんが、補声機を使って話され、ご活躍しておられる教育長としても有名です。

研修会では、まず講師の先生に、実際に1年1組で道徳の示範授業をしていただきました。題材は「聞く地蔵と聞かぬ地蔵」というお話で、「何でも願いを聞いてくれる地蔵が村人から奪ったものは何か、なかなか願いを聞いてくれない地蔵が村人に与えたものは何か」を考える授業でした。生徒は一生懸命考え、友だちと意見を交わし合い、互いの発表を聞き合っていました。まさに「考え議論する道徳」でした。その後の講義でも、授業のねらいのおき方、生徒が考えなくなる「問い」のつくり方、道徳の授業を難しくしているものは何かなど、多くのことを教えていただくことができました。

研修終了後、先生方からは、「授業づくりの大きなヒントをもらうことができた」、「早く道徳の授業をしてみたくなった」など、たくさんの感想の声を聞きことができました。中には、「こういう研修にじっくり取り組む時間が欲しい」といった声もありました。子ども達によい授業を提供するためにも、研修の時間が確保できるよう、業務改善に取り組む必要があることも実感しました。



椿西小「ほごしゃカフェ」を
KRYが取材している様子

また、2月3日（月）には、椿西小学校で行われた「ほごしゃカフェ」の様子を見学に行きました。本年度、萩東中学校区では、「PTAと連携した家庭教育支援事業」の指定を受け、この事業を活用して、これまで本校が行っていた「ほごしゃカフェ」を、連携する3つの小学校にも広げていこうという取組を進めています。保護者や教員が学校を越えてそれぞれの「ほごしゃカフェ」に参加できるようにすることで、保護者同士の交流の輪を広げ、中学校進学への不安を解消していこうというねらいです。さらに教育支援センター「輝きスクール」とも連携した教育支援を行っていく取組も始まりま

した。学校の課題を保護者や地域の方々と一緒に共有し、解決していく取組が大きく進み始めています。
(校長 網本 徳文)

生徒会役員での初めての生徒集会でした！！

2月4日（火）、2月の生徒集会を実施しました。12月に生徒会役員選挙を行い、1月から2年生中心の生徒会役員で企画運営した初めての生徒集会でした。生徒だけでなく、教員も無事に運営できるだろうかとドキドキしながら見守っている中、堂々とした姿で、立派に運営していました。昼休み等を利用し、コツコツと準備していた成果が十分に発揮されました。生徒会役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。そしてこれからも期待しています。



各専門委員長からの説明



生徒会企画
「SNSの危険性について」



生徒会役員が
進行している様子

1年1組の皆さん、たいへん立派でした！

1月30日（木）に、「道徳の授業づくり」について教職員で研修しました。（詳細は表面）児玉教育長には、1年1組で公開授業を行っていただきました。他校の先生も含め、約60名の教職員が参観する中、1年1組は本校の代表学級らしく、元気よく授業に取り組んでくれました。とても素晴らしい姿でした。一番緊張していたのは、実は担任の中島先生でした。これからも、生徒たちの学力向上に向け、「楽しい授業、わかる授業」が行えるよう、教職員一同、努力してまいります。



児玉教育長の熱い授業



熱心に聞き入る1組の生徒たち



教室いっぱいの先生方

<生徒の感想>

- 自分が「楽」をする喜びよりも、成長する喜びや困難を乗り越える喜びの方が、とっても大切だと思いました。また成長していく上でとても必要なことだと教わりました。困難を乗り越えようとして、失敗したとしても、しっかりと努力していきたいです。
- お金持ちになって暮らすのは憧れるけど、それが本当に正解ではないことを知ることができました。今の生活を大事にしながら、これからどんな困難も乗り越えながら、日々、過ごしていきたいです。初めてこれだけ深く考えたことで、よくわからなかったこともあったが、最後には「そのとおりだ」と納得し、理解することができました。命を大切にするために、日々の生活が喜びだと感じながら生活していきたいです。
- 生きる喜びは、この村の人たちみたいに、自分だけのために、他の人を傷つけたりするのではなくて、みんなが成長したり、困難を乗り越えたりすることなのだと思います。私たちは生きているから喜びを感じることができる。毎日の喜びを感じていきたいと思った。自分だけのことを考えずに、みんなが生きる喜びを感じられる世界になってほしいと思う。